

Good Choice

グッドチョイス

まちの話題をお寄せください。
 総務課 広報広聴係 ☎75-2280 / FAX75-2110



被災地訪問前の
 交流会で親睦を
 深めるメンバー



JR佐賀駅で
 被災地訪問の
 ための活動資
 金の街頭募金
 活動に取り組
 むメンバー

被災地支援を通じて防災意識の向上につなげたい

きっかけバス佐賀レッツゴー東北

全国47都道府県の学生が参加し、東日本大震災の「記憶の風化」と「風評被害」の解決を目的に、被災地支援活動『きっかけバス47』が立ち上がっています。

佐賀県では佐賀大学2年生の岡島貴弘さん（北多久町）が佐賀県支部代表を務め、佐賀大学の学生有志で岩手、宮城、福島県の3県を2月26日～3月1日までの2泊4日の日程で訪問し、ボランティア活動や現地の学生との交流、福島除染プラザでの学習を行います。

現地訪問に先立ち2月17日に佐賀市内で行われたメンバーの交流会では、メンバー間の親睦を深めるゲームや、自分の思いをきちんと相手に伝える練習として、即興演劇に取り組みました。

岡島さんは「支援に参加し、佐賀の学生の防災意識向上につなげたい」と決意を語りました。

両親への感謝の気持ちを伝え、成長した姿を披露するセレモニー

小中一貫校中央校小学部『2分の1成人式』

成人式にちなみ、行動に責任を持ち、改めて両親への感謝の思いや成長を見てもらうことを目的にした『2分の1成人式』を、2月12日、小中一貫校中央校の4年生（10歳）を対象に行いました。

開会式では、4年生による歌やリコーダーの演奏などの学年発表が行われ、太田春美校長が「感謝の気持ちを持つこと、下級生のお手本になるよう行動に責任を持ってください」とあいさつ。その後、各クラスに分かれ、自分の将来の夢を披露し、2分の1成人証書を担任の先生から受け取りました。

証書授与の後は、それぞれ児童手作りのプログラムで進行。幼いころの写真を見て誰かを当てるクイズや、両親への感謝の気持ちを込めた手紙の受け渡しを行いました。

クラス全員での合唱では、児童の成長した凛々しい姿に感動で涙する保護者も見られ、新たな第一歩をみんなで祝いました。



開会式で各組代表の児童に2分の1成人証書を手渡す太田春美校長



両親への感謝の気持ちを込めて、いきものがかりの『ありがとう』を披露する4年3組の児童

南三陸町佐藤町長が横尾市長へ復興状況を報告

2/5

宮城県南三陸町の佐藤仁町長と三浦清隆総務課長が市役所を訪れ、横尾市長に復興の進捗状況について報告しました。



報告会では佐藤町長が、住宅や医療施設の整備など住民が安心して暮らせる町づくりへの取り組みを説明。「多久市からの職員派遣をはじめとした心温まる支援に感謝します」と横尾市長に感謝の言葉を伝えました。

また、多久孔子の里獅子舞の川原田知章さんを通じて、復興支援として購入した宮城県産の伊勢ヒカリを使って醸造した天吹酒造『絆伝心』を町長へ贈呈しました。

地域農業に貢献！田代修一さん「佐賀農業賞」を受賞

1/30

「平成25年度佐賀農業賞」の表彰式が、グランデはがくれ（佐賀市）で行われ、田代修一さん（多久町下鶴）が優秀賞を受賞しました。



この賞は、地域農業の振興に貢献している農業者や組織・集団に対し、佐賀県が表彰を行っているもので、田代さんは、佐賀県農業大学校卒業と同時に後継者として就農されるとともに、青年農業士を6年間務められるなど農業の担い手として、若い農家の模範となる活動にも積極的に取り組まれていることが評価されての表彰でした。

田代さんは「受賞は励みになります。先進的な事例などを見ると、もっと頑張らなければならないと思います」と抱負を語りました。